

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和6年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	水素・再生可能エネルギー推進事業
補助事業者名	鹿児島県
補助事業の概要	脱炭素社会の実現に向けて市町村をはじめ、産学官と連携した推進体制を構築し、本県の地域特性を活かした再生可能エネルギー・水素の更なる導入促進を図った。
総事業費	22,400,441円
補助金充当額	22,400,441円
事業終了時点で達成すべき成果目標【必須】	<ol style="list-style-type: none">再生可能エネルギー推進委員会事業 本県では、豊富な森林資源や広大な海域、長い海岸線などの自然条件をはじめ、畜産業などの農林水産業が盛んであることから、多様で豊かな再生可能エネルギー資源が存在している。この恵まれた資源を最大限活用して再生可能エネルギーの導入を積極的に促進していくこととする。水素エネルギー利用促進事業 水素エネルギーの活用等に取り組む自治体、企業数：1件以上。水素・再生可能エネルギー普及啓発事業 水素・再生可能エネルギーフェア来場者数：約2500人 水素・再生可能エネルギー導入セミナー参加者数：約100人以上 親子再生可能エネルギー工作教室：約40人以上 FCVキャラバン・出前授業参加者数：約200人
事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況【必須】	<ol style="list-style-type: none">再生可能エネルギー推進委員会事業 本県では、豊富な森林資源や広大な海域、長い海岸線などの自然条件をはじめ、畜産業などの農林水産業が盛んであることから、多様で豊かな再生可能エネルギー資源が存在している。この恵まれた資源を最大限活用して再生可能エネルギーの導入を積極的に促進していくための取り組みを行うことができた。水素エネルギー利用促進事業 実績：0件 今年度は水素供給元、水素利用先の候補となりうる事業者の掘り起こしを行い、水素活用に向けた動きが進んだ。水素・再生可能エネルギー普及啓発事業 実績：水素・再生可能エネルギーフェア来場者数：約3,200人

	<p>水素・再生可能エネルギー導入セミナー参加者数：92人 親子再生可能エネルギー工作教室：36人 FCVキャラバン・出前授業参加者数：約550人</p>	
<p>補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）</p>	<p>契約（間接補助）の目的</p>	<p>(1) 市町村や事業者向け水素勉強会・個別相談会 (2) 水素サプライチェーンに関連する事業者等の取組支援 (3) 事業化の調整 (4) 鹿児島県水素エネルギー利活用促進検討協議会に係る報告</p>
	<p>契約の方法</p>	<p>随意契約</p>
	<p>契約の相手方（間接補助先）</p>	<p>みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社</p>
	<p>契約金額（間接補助金額）</p>	<p>12,601,875円</p>
	<p>契約（間接補助）の目的</p>	<p>(1) 水素・再生可能エネルギーフェア企画・運営業務 (2) 水素・再生可能エネルギーフェアの各種展示や親子再生可能エネルギー工作教室の会場設営業務</p>
	<p>契約の方法</p>	<p>随意契約</p>
	<p>契約の相手方（間接補助先）</p>	<p>株式会社MBCサンスター</p>
	<p>契約金額（間接補助金額）</p>	<p>1,159,906円</p>
	<p>契約（間接補助）の目的</p>	<p>(1) 再生可能エネルギー導入セミナー企画・運営業務 (2) 再生可能エネルギー導入セミナーの会場設営業務</p>
	<p>契約の方法</p>	<p>随意契約</p>
	<p>契約の相手方（間接補助先）</p>	<p>株式会社MBCサンスター</p>
	<p>契約金額（間接補助金額）</p>	<p>4,994,000円</p>
	<p>契約（間接補助）の目的</p>	<p>(1) 水素に関するチラシの作成 (2) イベントでの展示や水素に関する実験の実施 (3) 水素に関する出前授業の実施</p>
<p>契約の方法</p>	<p>随意契約</p>	
<p>契約の相手方（間接補助先）</p>	<p>株式会社MBCサンスター</p>	
<p>契約金額（間接補助金額）</p>	<p>2,563,000円</p>	
<p>来年度以降の事業見通し</p>	<p>水素サプライチェーンに関連する事業者の具体的な取組を見据えたワーキンググループ組成を進めるほか、推進委員会及び自治担当者会議の開催や、水素・再生可能エネルギーの地域共生を踏まえた普及啓発を実施する。</p>	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 事業終了時点で達成すべき成果目標の欄、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標には、それぞれ、補助金応募申請書提出時に設定した、「①事業終了時点で達成すべき成果目標」、「②事業終了後、後年度で達成すべき成果目標」の記載を転記すること。
- 3 事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標の達成状況の記載については、それぞれに対応する形で、成果目標の達成状況及び達成状況についての評価を記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 6 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	鹿児島市民間施設における再生可能エネルギー等導入可能性調査事業	
補助事業者名	鹿児島市	
補助事業の概要	本市の高い太陽光ポテンシャルを活かし、企業の再生可能エネルギー等の導入可能性を調査した。運輸部門を含めた企業における最適な導入手法や行政支援の在り方を検討し、脱炭素モデル・ロードマップを作成することで、民間企業への再生可能エネルギー等の導入促進により、多様なエネルギー源の組合せに関する市民の理解・関心を深め、市域の脱炭素化産業振興に寄与するとともに、災害時のレジリエンス向上を目指した。	
総事業費	10,945,000 円	
補助金充当額	10,945,000 円	
事業終了時点で達成すべき成果目標【必須】 (提案書から転記)	導入事例となるような、本市再生可能エネルギー活用計画の中期目標「令和 13 年の再生可能エネルギー導入量 827,000 MWh」の達成に資する脱炭素モデル・ロードマップを示し、市内企業の理解・関心を深め、さらなる再生可能エネルギー等の導入を促すことで市域の脱炭素・産業振興を図るとともに、災害時のレジリエンスを向上させる。特に本市 CO ₂ 排出量の 35.1% を占める運輸部門の脱炭素を促進することで、エネルギー構造の高度化を実現する。	
事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況【必須】	本市再生可能エネルギー活用計画の中期目標「令和 13 年の再生可能エネルギー導入量 827,000 MWh」の達成に資する脱炭素モデル・ロードマップを示した。 脱炭素モデルでは、各分野それぞれに有効な再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器を体系的にまとめ、各分野の企業が取り組むモデルを示した。 また、各分野の将来像を描き、企業による率直的な取組を促進するロードマップを作成するとともに、各分野における再生可能エネルギーの導入見込量を示した。	
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標【任意】 (提案書から転記)		
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標の達成状況【任意】		
補助事業の実施に伴い締結さ	契約(間接補助)の	・導入可能性調査

れた売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	目的	・脱炭素モデル/ロードマップ案の作成
	契約の方法	公募型プロポーザル方式による随意契約
	契約の相手方(間接補助先)	鹿児島市再生可能エネルギー等導入可能性調査業務共同企業体
	契約金額(間接補助金額)	10,945,000円
来年度以降の事業見通し		

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 事業終了時点で達成すべき成果目標の欄、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標には、それぞれ、補助金応募申請書提出時に設定した、「①事業終了時点で達成すべき成果目標」、「②事業終了後、後年度で達成すべき成果目標」の記載を転記すること。
- 3 事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標の達成状況の記載については、それぞれに対応する形で、成果目標の達成状況及び達成状況についての評価を記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。